



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行・横浜スペイン協会 横浜市鶴見区岸谷 2-18-4 FAX 045-571-3834

スペイン国国王陛下謁見の儀に参列して

横浜スペイン協会会長 下山利明

去る4月4日から7日まで、スペイン国国王王妃両陛下が、日本国天皇皇后両陛下のお招きで国賓として来日されました。この期間の4月6日に大変光栄な事に、横浜スペイン協会の代表として謁見の儀にご招待を頂きました。本儀の趣旨は、国王陛下が全国のスペイン協会、スペイン語学科及びスペイン語やスペイン文化の普及に貢献をされている団体・学会を代表する日本国国民との会見を希望され、各団体や学会の取り組みをお知りになり、感謝をお伝えくださる場との事でした。会場は帝国ホテル「蘭の間」で、当日は最初に国王陛下にご挨拶をしてから、全員で記念撮影を致しました。そのあと、国王陛下を囲み40名弱の参列者全員が一人一人前に出て、直々に対面して自己紹介及び活動内容のご説明をする機会を頂きました。謁見の儀は30分の予定でしたが約1時間にもおよびました。横浜スペイン協会の活動の報告をお聞き頂き、またお言葉も賜り、短い滞在期間の貴重なお時間で、我々の活動をご理解いただけた事は大変嬉しくありがたい事でした。今後とも横浜スペイン協会が、スペインと日本両国の文化交流に微力ながらお役に立てる事を改めて心から願った次第です。また、当協会の会員であるピアニストで日本スペイン音楽文化協会代表の滝澤三枝子氏と日本サルスエラ協会代表で脚本家の桜田ゆみ氏のご両名も、列席されておりましたのが大変嬉しい事でした。



《総会の報告》

2017 年度定時総会議事録

日 時 : 2017 年 5 月 14 日 (日) 13:15 ~ 15:30
場 所 : 県民活動サポートセンター302 号室
出席人数 : 21 名
議 長 : 下山利明会長
議 案 : 総会に先立ち、同日 AM11:45 より開催された理事会において「2017 年度定時総会議案書」が承認された。

[議案]

1. 第 1 号議案 2016 年度事業報告について
2. 第 2 号議案 (1) 2016 年度会計決算報告について
(2) 監査報告
3. 第 3 号議案 2017 年度事業計画 (案) について
4. 第 4 号議案 2017 年度会計収支予算 (案) について
5. 第 5 号議案 規約改定について

[議事]

1. 臼井総務担当理事の司会で開催し、まず下山会長より挨拶があった。
2. 協会規約 10 条(2)に則り会長が議長の座に着き、臼井理事より第 1 号議案の説明があった。引き続き第 2 号議案(1)について臼井理事より説明があった。この後同議案(2)「監査報告」は大戸監査員、下山綾子監査員から 2016 年度会計処理は適正に執行された旨の報告が行われた。
3. 第 3 号議案について下山会長より説明があり、各担当理事が補足説明を行った。第 4 号議案は下山会長より、また第 5 号議案は臼井理事より説明があった。各議案につき衆議を諮ったところ、出席者全員の賛同を得て可決された。なお第 5 号議案の規約改定の中で、新設される学生会員については年齢の制限が無かったため、25 歳以下とする旨規約に追加することで出席者全員の賛同を得た。その他特に提案はなく、定時総会は 15 時 30 分議長が閉会を告げて終了した。

総会ご出席の方には、議案書は既にお渡ししてありますので送付いたしません。

ご入用の方は、下記メールアドレスにてご連絡ください。E-mail : info@yokohama-spain.jp

以上

質疑 議案について以下の質疑があった。

(1) 第 1 号議案

(石井) スペイン・サロンの参加者数はどのくらいか。

(服部) 延べ 178 名の参加者がいました。

(2) 第 2 号議案

① (石井) 監査人の内 1 名が会長夫人だが、客観性から見て問題はないか。

(臼井) 会長夫人は協会の役職についていないので客観性は保たれていると考えます。人選に苦慮した結果、下山綾子氏にお願いしました。ただし今後の課題として検討します。

② (栗山) スペイン・サロン参加者及びスペイン語クラスに会員はどのくらいいるのか？

(服部) スペイン・サロンの参加者全体からみると、非会員のクラスメンバーを含め非会員が多いです。料理教室は、場所の制限により募集できる人員が少ないので会員優先にしています。

(福長) スペイン語教室7クラス(新聞クラスは前期休講の為除く)のメンバー(81名)のうち会員は36名。

(3) 第3号議案

(佐竹) 提案: 広報について、HPを見て欲しいということだけではなく、例えば新規掲載したとき、タイトルとURLだけでもメールニュースとして通知すると周知が図れるのではないか。

(下山) ご提案ありがとうございます。今後の課題として検討します。

(4) 第4号議案

(池田) 予算の支出の部の表タイトル「予算案」とは何か。

(臼井) 「前年度予算額」の誤りです。訂正します。

(5) 第5号議案

(栗山) 学生会員の「学生」の定義は?

(臼井) 若い方に興味を持っていただきたいという思いがあるので、学生の定義を「学生証を保持し、25歳以下の人」とします。

(古賀恵子)

以上

第3号議案 2017年度 事業計画(案)

基本方針

スペイン国に深い関心を持つ者が集い、会員相互の親睦をはかりつつ、スペイン文化の普及と友好親善関係の向上に貢献する。

1. スペイン語教室の拡充
2. スペインサロン・サークル活動の更なる活性化
3. 国内外の人的交流の積極的推進
4. 広報活動の充実
5. さくら植樹を通じてのスペインにおける文化交流の推進

スペイン語教室 方針(担当 福長理事)

1. スペイン語クラスの業務を再配分する。(委員の増員)
2. 夏期スペイン語圏文化講座の開催
3. 特別講座の開講。
4. ホームページを充実させ、外部からの受講者の増加を図る

スペイン・サロン 方針(担当 服部理事)

1. 文化講座の開催(文学、歴史、絵画、建築、音楽など)
2. 食文化の理解を深める(スペイン料理、ワイン・シェリー・チーズなど)

渉外・イベント 方針(担当 武菱理事)

1. 国際交流の充実(大使館との積極的交流・訪日ゲスト対応・桜植樹準備)
2. 日本各地のスペイン協会との積極的な交流の推進
3. 新年会の開催及び大使館イベントの開催

総務・会計 方針 (担当 臼井理事・古賀理事)

1. 協会規約等の整備
2. 会長及び各担当理事、委員の役割を明確化し効率運営を目指す
(PC スキルの向上推進、役割分掌の作成)
3. 適切な予算の執行と管理
4. 学生会員の創設と勧誘、募集

広報 方針 (担当 下山会長)

1. AIYES 通信 4回/年 発行
2. H/P のコンテンツ充実 タイムリーな情報の更新
3. H/P における P/W 利用の会員専用ページの設置

《総会番外報告》総会后、簡単なお茶とお菓子で立食形式の懇談会が執り行われました。旧知の会員の方や初参加の方など、スペイン談義に話が弾みました。後半、全員（もちろん理事も）が自己紹介し、更に親睦を深めることができました。中でも当日参加の胡桃澤ご夫妻が、つい最近スペインに旅行した際、当地で協会の話を目にし、帰国後すぐ入会したというお話を聞いた時は、一同少し誇らしい気持ちになりました。語り足りないメンバーはさらに街中に繰り出し大いに盛り上がりました。会員交流の場として来年も同様の席設けますので、皆様のご参加お待ちしております。(臼井慎一)



●スペイン語クラス

今回は、**カメラリア**クラスの紹介です。

講座日：第 1. 2. 3 月曜日 13:00~14:30

講師：Victor Pérez 講師

4 月から新しく担当になられた講師はバルセロナご出身

バルセロナ大学で歴史を専攻された真摯で穏やか、でも熱意のあるご指導は早くも評判となっています。

<講師メッセージ>

En la clase Camelia estudiamos el idioma español de forma divertida y agradable. Los alumnos son muy afables y tienen intereses diversos relacionados con las culturas de España e Hispanoamérica. Yo soy el tercer profesor que ha tenido la clase Camelia y, aunque me incorporé hace solo unos meses, espero poder seguir en ella mucho tiempo más. En las clases utilizamos principalmente el libro de texto "Español en Marcha 3", correspondiente al nivel B1. Además, una vez al mes dedicamos una clase a la lectura: actualmente estamos leyendo un cuento muy entretenido, titulado "Robo en la catedral", que tiene como escenario la ciudad de Santiago de Compostela (España).

Si estáis buscando un lugar en el que aprender y pasarlo bien, estoy seguro de que la clase Camelia os encantará. ¡Los alumnos y yo os damos la bienvenida!

la clase Camelia. (Victor Pérez)

カメラアクラスでは、子どもはスペイン語を楽しく愉快的な雰囲気の中で学んでいます。受講者たちは大変明るくスペインやラテンアメリカの文化について多様な興味を持って居られます。私はカメラア・クラスで指導をしてきた3人目の教師となります。ここでクラスを担当してからまだ数ヶ月しか経っていませんが、これから更に長く続けていけることを願っています。このクラスでは主にB1レベルに相当する「Español en Marcha 3」という教科書を使用しています。更に月に1回の読書クラスでは、現在「Robo en la Catedral」と題する大変おもしろい物語を教材にしていますがそれはスペインのサンチアゴ・デ・コンポステラ市を舞台としています。若し皆様の中で学ぶのに良し、楽しく過ごすに良しという場所を探しているのであれば、カメラア・クラスがまさにお望みの場所であること間違いありません。歓迎します。(訳 福長昭代)

皆さん、こんにちは。スペイン語クラス「Camelia」をご紹介します。各クラスには花の名前がついていますが私たちのクラスは椿、Cameliaクラスです。メンバーは14名(男性2名 女性12名)。私は新参者ですが、今回何うと長い方は2004年から続けていらっしゃるとか。その間、先生方は何人か変わりこの4月からVictor先生をお迎えして中級のテキストと月一度の文章の講読をしております。Victor先生に初めてお会いしたとき、細くて目が大きくお髭の印象から聖フランシスコ・ザビエルを思いました。拙い質問、時にはまどろっこしくて日本語が混ざってしまう私達の質問にも辛抱強く例文を使ってかみ砕いて教えてくださいました。このクラスの良いところは初歩的な質問でも遠慮なくでき、それが私達にとっても参考になることです。ですから余りテキストを急ぎません。文章の解釈については日本人の感覚では解らないことも多く歴史の背景・文化の違いなども教えていただければと思っています。スペインの魅力そしてスペイン語のパズルの世界に入ってしまった私達は先生の説明に驚き笑いながら授業を受けています。(石元道子)



*** お知らせ ~ どなたでも参加できます!! ***

1) 2017年度夏期スペイン語クラス文化講座 開講

スペイン人3講師により計6回の講座が開かれます。「グラナダ奪還」、「カタルーニャ独立運動」、「Platero y Yo」などの多様なテーマの講義はスペイン語で行われます。(※詳細はHPに掲載)

場所：かながわ県民センター

開講日・時間：7月26日、31日、8月7日、9日、21日、28日 10:30~12:30

受講料：会員9,000円、非会員10,000円

2) 清泉女子大学名誉教授吉田彩子先生による特別講座 10月から開講

テーマ；「ドン・キホーテ」を読むための基礎知識 計6回

場所・時間：かながわ県民センター 毎月第3金曜日 13:00~14:30

受講料：会員9,000円 非会員10,000円

世界中で多くの人に読まれている小説「ドン・キホーテ」。なぜそこまで人々に愛されるのか？歴史的背景や作者セルバンテスについて、どのように読まれてきたか、更に同時代の文学などについて日本語で講義して頂きます。

3) 後期 10 月から 入門クラス「初めてのスペイン語」開講

「新聞、雑誌をスペイン語で読むクラス」を長年ご担当のベテラン講師の栗山由美子先生がスペイン語を初歩からご指導くださるクラスです。

講座日・時間：毎月第 1、2、3 水曜日 10:30～12:00

場所：かながわ県民センター

受講料：会員 1,500 円×講座 18 回=27,000 円/非会員+27,000 円プラス教室維持費として 2,000 円
2)、3) の講座の詳細は後日 HP に掲載いたします。

上記講座のお問い合わせ先

E-mail aiyes.supeingo.kurasu@gmail.com

または福長昭代 akkyo-106@jcom.home.ne.jp / 090 2311 4780

●サークル「CLUB2020」 ～課外授業～

三溪園 5 月 23 日

風薫る五月の青空の下、Club2020 の 2 回目となる遠足が三溪園で行われました。外国の方には特に人気の高い三溪園の園内には黄菖蒲と蓮が咲き、古建築が新緑に映えて大変きれいでした。参加者は 19 名で、4 つの班に分かれ、三重の塔、茅葺き屋根といった日常会話ではあまり使用しない単語を使いながら、自分の言葉で担当の場所を説明しました。三溪園のボランティアガイドさんからパンフレットには載っていない興味深いお話をじっくり伺ったり、一般的な見学ルートから外れた場所まで足を延ばしたりした班もあったようです。2 時間半ほどの滞在は机上の学習では得られない大変貴重な経験となりました。見学後は中華街の大新園に場所を移し、美味しいお料理に舌鼓を打ちながら様々な話題で盛り上がり、楽しい一時を過ごしました。オリンピックまであと 3 年。スペイン語で少しでもお役に立てるよう山田先生にご教授いただきながら、楽しく活動をしていきたいと思っております。(福田 薫)

活動日；毎月第 1, 3 火曜日 10:30～12:30

お問い合わせ先:aiyes.supeingo.kurasu@gmail.com



●旅でスペインを識ろう会

3月「旅でスペインを識ろう会」に参加して

私は今回初めて参加したのですが、教室は満員、まずは人気の高さにおどろきました。前半は、山田るり子先生による「旅のプランニング講座」で、サラマンカからバルセロナまで建築めぐり4週間の旅のスケジュールの立て方、割安の航空券や宿などの見つけ方から役立つ様々なサイトの紹介まで、いずれもとても参考になりました。私が25年以上前にスペインを旅行した時は、地球の歩き方やミシュランのガイドブックなどの本しか頼るものではありませんでしたが、今はインターネットのおかげでこれほど多くの生の情報を瞬時に得られることができることに感激しました。後半は、真木幸子さんによる「ナバラ・ピレーネ・アラゴンの旅」で、写真を映写しながら、感動された場所について熱く語られていたのが印象的でした。私もあちこち旅をして感動した思い出やその時の写真もどこかにあるはずなのですが、きちんと行程とともに記録として残していなかったので反省した次第です。もう一度スペインを旅する計画をたてる際、今回教わった素敵な場所や、再度訪れたい場所に行くにあたって役立つ情報が得られたことで、失敗しない、より効率的な旅ができそうに思いました。ありがとうございました。(岩田岳久)



山田るり子先生の旅のアルバムから

●国際交流活動

イグナシオ・デ・ベニートご夫妻への東京建築ガイド

2017.5.24 案内：下山利明、山田るり子、武菱邦夫

今回、日本の建築に大変興味を持たれているイグナシオ夫妻が来日し、半日程度の時間の中で建築物の案内を行うこととなりました。訪問場所として、①地震の多い日本での最新の耐震技術と古来からの耐震技術の紹介をする建物 ②豪華な意匠に彩られた寺社建物を訪問することとしました。限られた時間でしたので、上野公園内の建物を対象として訪問を行うこととしました。訪問日当日に、ご夫妻に訪問先を紹介しましたところ、奥様が日本の建築に大変興味を持たれており、日本の現代建築に興味があることを伺いました。彼女が手にしたメモには、隈研吾などの現代日本の建築家数名の名前が記されており、関心の高さが現れていました。最初の訪問先は国立西洋美術館でした。一般には建築家ル・コルビジェの設計した建物で世界遺産として知られており、日本の現代建築の先駆的建物ですが、今回の建物訪問では、この建物が1995年の阪神淡路の大きな地震の後、大地震対策として1998年に基礎部分を置換して免震構造の建物となっていることを紹介しました。まさに地震対策の現代の先端技術が用いられている建物です。またこの建物の地下の部屋

に設けられた窓からは、実際の基礎部の免震装置が見ることができるので、免震構造について具体的な説明を行いました。2 番目の訪問先は旧寛永寺五重の塔です。日本には古来から数多くある五重の塔ですが、地震で倒壊したことがありません。その耐震技術には心柱などによる独自の耐震技術が用いられ、その技術は東京スカイツリーの設計にも用いられていることなどの説明を行いました。3 番目の訪問先は上野東照宮です。この神社は 1627 年に建立され現在に至っていますが、日本ならではの金箔で覆われた壁面や、透かし彫りに極彩色が彩られ、華やかなデザイン等が多く使われている日本建築の意匠の一端を紹介しました。建物の案内の中で、様々な会話がご夫妻と行われましたが、今回初めて知ったことがありました。私はスペインでは、大きな地震などはあまりないと考えていましたが、実は 260 年前に隣国ポルトガルの首都リスボンあたりを震源とする推定マグニチュード 8.5 の大地震が起こり、リスボンは壊滅的な被害を受け、その揺れは西ヨーロッパ全土に広がって、これがリスボン大震災と呼ばれているとのことでした。今回の交流を通じて、初めて知った事実でした。科学や文化の交流の必要性を改めて感じた瞬間でした。(武菱邦夫)



●シネマサロン

「サクロモンテの丘」：“Sacromonte : los sabios de la tribu ”

監督：Chus Gutiérrez, 2014 年、スペイン映画



—激動の時代を生き抜いた人々が伝える伝説のフラメンコ・コミュニティの記録—、かつての歌い手で踊り手でもあったクーロ・アルバイシンの案内で物語は進む。白い丘、狭い路地を抜けてたどり着いた一軒の洞窟。その穴倉のような白壁の部屋に大人から子供までが集まり、主人公と脇役が交代しながら、踊り手、歌い手、ギタリストへのインタビューが入る。日常生活の歌、希望の歌、ロルカの詩による歌もあり、明るい雰

囲気のもが多かったのは、末席に座る子供たちの手拍子のせいだったかもしれない。迫害された歴史、1963 年にはロマの世界的大スターであった カルメン・アマジャが亡くなり、さらに大雨で洞窟（当時は左官屋が土で固めた洞窟が多かった）が崩れたため一斉に移住しなければならなかったという災難などを乗り越えて、1970 年代から再生した村。マドリッドで成功した人、外国の舞踊団に参加した人、外国で長期間公演した人、ここを訪れたフランク・シナトラに褒められた人、それぞれの思い出を自慢しながら老いた男女が詩を朗読し、歌い、踊る。力強く魂を振り絞るように。アンダルシアの大地に根付いたロマの魂が後世の人たちに伝わってほしいと、叫んでいるようにも思えました。(松本益代)

●マドリッド便り ～ スペイン歴史探訪

<カトリック両王の婚約外交>

15世紀のヨーロッパの大国はフランス王国であったが、隣国のスペインアラゴン王国とはイタリア半島やピレネー山脈付近での領土争いで両国の紛争が頻発していた。特にイタリア半島や地中海の島々は、アラゴン王国の領土が多く、フランスとは常に利害関係が衝突し、戦争が繰り返されていた。アラゴン王が当時の強国スペインのカステリア王国の王女イサベルと結婚し、両国が統合したことは、フランスにとって不利な状況となる。カトリック両王、特にアラゴン王のフェルナンドは、フランス封じ込め政策を実行するに至る。これはフランスの北側にあるハウスブルグ家と、ボルゴニュー家の神聖ローマ皇帝の長男長女で大公と大公妃をカトリック両王の長男次女と二重婚約成立させることでフランスを包囲し、フランスは今までのような自由な動きができなくなりヨーロッパでの覇権を失うことになる。更にイングランドのアーサー王子と四女のカタリーナ王女の婚約で、スペインはフランスを取り巻く主要国と親類関係となり、フランスを孤立させることに成功する。こうしてスペインは、フランスに代わってヨーロッパの覇権を確立していく。16世紀初め、フランス国王フランスワール1世は、イタリア北部のパビアでスペインとの戦争で敗れ捕虜となり、マドリッドに送られ1年以上捕らわれの身となったことがある。これはスペインが既にフランスを圧倒してヨーロッパで最強のパワーになったことの実証といえる。婚約外交により、子孫がヨーロッパの主要王室に嫁ぎ、スペインの地位は向上する。結論から言えばハウスブルグ家の大公と結婚した次女のファナの息子娘たちの子孫は、ヨーロッパ中の王家に嫁ぎ、王妃や皇帝として活躍することになる。長男はスペイン王として神聖ローマ皇帝を兼ね、スペイン帝国の第一歩を踏み出す。イングランドのヘンリー8世と結婚したカタリーナ王女は、イングランド女王としてイングランドで活躍するが、晩年は苦難な状態で亡くなる。娘のマリアは後にチュウダー朝のメアリー1世としてイングランド女王となり、今日有名なドリンクブラディーマリーがあだ名となり有名である。ポルトガル王と結婚した三女のマリア女王は数多い子孫を残し、息子のファン3世の時代には、初のポルトガル船が日本の種子島に到着している。スペイン人宣教師ザビエルがポルトガル船で1549年鹿児島に到着したのも、このカトリック両王の孫ファン3世の時代であった。(鈴木 裕)



カトリック両王イサベル女王とフェルナンド王

●会員活動報告

<<問屋正勝さんの四国巡礼遍路記>>



昨年7月から約2か月半をかけて、サンティアゴ巡礼路1500キロを踏破し10年間で1万キロの大記録を果たした問屋正勝さんが、今年はお遍路さんとして88カ所の札所を巡りました。3月14日から4月28日までの45日間、1120キロの様子を34回にわたってホームページに掲載しています。短いコメントと写真ですが、地元の人たちや他のお遍路さんたちとの交流の様子や四国の美しい風景の写真が、我々読者の旅情を誘います。もちろん雨の日も風の日も、ただひたすら歩く巡礼の旅は経験した人にしか解らない、自分を見つめる内面の旅でもあった事でしょう。

問屋さん、本当にお疲れ様でした。次の目標に向かう姿勢には、頭が下がります。(下山綾子)
※横浜スペイン協会ホームページ コンテンツ⇒「お知らせ&イベント(会員・その他)」をクリックして、バックナンバーをご覧ください。

《横浜スペイン協会 後援コンサート、等》

*磯子区制 90 周年記念 世界屈指の名手がギターで紡ぐ“光と影”

～ ホセ・マリア・ガジャルド・デル・レイ with 高木洋子

日程：10月1日(日) 13:30 開場 14:00 開演 (16:00 終演予定)

会場：横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場

入場料：(全席指定) 4000 円 横浜スペイン協会会員特典あり

お問合せ先：プリマベラ 050-3051-4645

予定プログラム：・ギターソロ：ホセ・マリア・ガジャルド

・ピアノソロ：高木洋子 トレド協奏曲のカデンツァ

・ギターとピアノ：ホセ・マリア・ガジャルド&高木洋子

ギター協奏曲 Op.72 第2楽章 (S.バカリッセ)

アランフェス協奏曲 (J.ロドリゴ)

※演奏会休憩時、公演後、磯子区制 90 周年をお祝いしてワインを飲みながらの交流レセプションを予定しています。

*第2回スペイン音楽国際コンクール

開催部門：クラシックギター・声楽・ピアノ・ヴァイオリン

主催：一般社団法人日本スペイン音楽文化協会 代表 滝澤三枝子

日程：12月17日(日) 9:20 開場 9:40 開演

会場：高輪区民センター 入場無料(申し込み不要)

お問合せ先：コンクール事務局 03-3558-3563 / 080-5027-3338

《中村瑛子さんを偲ぶ会》

3月25日(土) 13:30~15:30 於；波止場会館 5F 多目的ホール

2016年10月10日イタリア・ジェノバで逝去された中村瑛子さんを偲ぶ会が行われました。人とのつながりを大事にされていた瑛子さんを偲んで、大勢のご友人やご縁のある方たちにご参集頂き、故人のお人柄を偲ばせるお話を頂いた他、瑛子さんに所縁のある音楽演奏等が行われました。明るくいつも楽しい雰囲気をつくっていらした瑛子さんにふさわしい偲ぶ会となりました。

当会の開催にあたりご協力頂いた皆様に、心より御礼申し上げます。

(実行委員一同：栗山由美子、桜田ゆみ、真木幸子、福長昭代)

*中村瑛子さんを偲ぶ会

3月25日横浜の波止場会館で飛鳥の停泊する港を臨んで会は開かれました。

瑛子さんの和紙人形、折り紙作品が会場に彩を添えるなか、各団体による思い出話と演奏が始まりました。瑛子さんの手記“SAKURA:El sueño de un pintor”が桜田さんの語りとピアノで披露され、

小野さんのアベマリアが朗々と会場に響きわたり、お孫さんのさくらさんが瑛子さんとのスペイン旅行の思い出を語られました。大学のギター部の平尾さんが言われたように、瑛子さんは人生という一本道を明るく強く弱者への思いやりと世界平和への祈りを込めてまっしぐらに歩まれました。ご主人様が最後に言われたように、この偲ぶ会は私たちを元気づける会となりました。瑛子さん、ほんとうにありがとう。

最後にこの会の開催にご努力くださった多くの方々に心よりお礼申し上げます。(赤堀綾子)

*中村瑛子さんを偲んで

中村瑛子さんが『フルートアンサンブル夢笛』に入会されたのは2012年7月でした。新しいメンバーを募ろうと、私たちが企画した<フルート入門講座>に応募されて夢笛のメンバーに加わりました。新しくメンバーに加わった中村さんは、とってお洒落でチャーミングな方で夢笛の中でもたちまち光る存在になりました。練習の終わった後に、みんなで「反省会」と称して、お酒を少々飲みながらおしゃべりするのが楽しみの一つでしたが、そういう集まりにも時々顔を見せて、スペインの話をよくされていました。また、合宿練習の時などには、必ずお手製のクッキーを持ってこられて、休憩時間にみんなに振る舞われ、私たちもそれを楽しみにしていました。アンサンブルの練習はお人柄の所為か何時も遠慮がちに後ろの席で吹いていらっしや



いましたが、滅多にお休みすることはなく熱心に練習に参加されていました。そんな中村さんと昨年9月29日木曜日の定期練習日の帰りに、何時もどおり上大岡駅の改札口で「じゃーね、気をつけて行ってきてね。旅行にもフルート持って行って練習しておいてね」と言って中村さんと言葉を交わしたのが最後になってしまいました。『中村瑛子さんを偲ぶ会』に参加してみて、中村さんの活動の広さと人との繋がり深さを改めて知ることができました。フルートアンサンブル夢笛も演奏で中村さんを偲ぶことができ、本当に良かったと思っています。このような機会を作ってくださった実行委員の皆さんに感謝いたします。終わりに、メンバー一同で中村瑛子さんのご冥福をお祈り申し上げます。(フルートアンサンブル夢笛 大野 潔)

協会からのお知らせ

次回スペイン・サロンのお知らせ

日時：2017年9月30日(土) 13:30~15:30

会場：かながわ県民センター 304号室

演者：細田晴子(日本大学商学部准教授)

演目：『劇場型スペイン政治と王室』

連絡先：kfk.2010@clear.ocn.ne.jp(服部)

norih0703@gmail.com(平本)

※ 詳しくは、近日中にホームページ、チラシでお知らせいたします。

新会員紹介

胡桃澤 恒二 (Tsuneji Kurumisawa) 横浜市旭区在住 2017年4月入会

旅行が好きで、スペインは1996年から毎年訪れています。いろいろな所を訪れているので、皆さんと話ができることを期待しています。語学力は2年間勉強しましたが、まだ入門クラスです。スペイン語で話かけても、英語で対応されてしまうほどです。やっと、カステージャ語以外にバスク語やカタルーニャ語が日常では使われているのがわかってきました。よろしくお願ひします。

胡桃澤 みどり (Midori Kurumisawa) 横浜市旭区在住 2017年4月入会

旅行好きな主人に1996年から毎年スペインへ連れて行かれています。いろいろな所に車で連れて行かれるので、美味しい食べ物など、皆さんと話ができると思います。語学力は2年間勉強しましたが、まだ、入門クラスで、やっと、カステージャ語以外にバスク語やカタルーニャ語が日常では使われていて、道路標識が読めるようになってきました。よろしくお願ひいたします。

飯塚 直美 (Naomi Iizuka) 鎌倉市在住 2017年5月入会

以前からスペインの歴史、文化に興味があり、入会を希望いたしました。旅行を楽しむためにスペイン語の学習に励むつもりです。

<<賛助会員各社の会員サービス内容>>

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛助会員	住所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サングリア1杯無料
アトリエ フレア Atlier Flair	鎌倉市大船2-17-8 中島ビル3F	0467-42-8531	押し花体験費用割引
スペインバル ボデガ・デ・サリア	東京都港区台場2-2-1 ザ・クルーズ・ダイアネックスホール1F	03-5531-2151	生ビール一杯無料

<編集後記> 久々に漫画にはまっています。ちびまる子ちゃんを全巻読破した時以来です(笑)
 漫画の題名は『アルカサル～王城～』(青池保子)①～⑬。14世紀に実在した、カステージャ王、ドン・ペドロ1世の波乱の生涯を描いています。初版が昭和60年ですから、ずいぶん古い漫画で、絵のタッチも全く今風とは違うのですが、それがかえって歴史物のリアル感が出ていてなかなかいい感じで、黙々と読み進めています。(編集長・AS)

編集長 / 下山綾子

編集委員 / 白井慎一 古賀恵子 下山利明 武菱邦夫 服部君江 福長昭代

* 投稿寄稿宛先
 横浜スペイン協会

E-mail : info@yokohama-spain.jp
 ホームページ : <http://www.yokohama-spain.jp/>

次回の原稿締切は
10月10日(火)です